

初任運転者への実技指導

新たに雇い入れた大型バス運転士への安全運転技術指導について

☆安全運転技術指導・20時間以上の運転時間による指導☆

ステップ1

本社近辺の工業団地内から三浦半島海岸沿いの平坦な道において、基本的な運転操作を確認。技量に応じて三浦半島最先端三崎港から葉山町を經由して、横浜ランドマークタワーまでの実技指導を行います。

ステップ2

坂道指導・後進指導を行います。主に三浦半島エリアにて実技指導を行います。

ステップ3

早朝または夜間の暗い時間帯での走行指導を行います。

暗くなる前となった後の市街地走行の違いを確認します。

ステップ4

本社から、横浜横須賀道路・保土ヶ谷BP・首都高を使用して自動車専用道路や高速道路の走行指導を行います。

ステップ5

246 経由で東名高速を走行し、静岡方面へ向けて高速道路を使用した長距離運転指導を行います。

ステップ6

最終確認、本人運転のドライブレコーダー画像や適性診断結果を用いて技術指導の確認をし、不安が残る運転技術があれば指導を行います。

☆指導員について☆

採用された運転士の経歴・技術に応じて乗務主任をはじめ社員の中から指導員を選出しております。

各ステップにおいて指導員を変えており、多くの運転知識を得る機会を設けて指導しております。

ステップ1・2については大型バス運転経歴が10年以上の運転士により指導および技能確認を行い、ステップ3以降は運転技能に応じた運転士が添乗指導にあたります。